

科目名	卒業制作							年度	2025
英語科目名	Graduation project studio							学期	後期
学科・学年	土木・造園科 2年次	必／選	必	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	鶴田真二、右田順三、熊谷直紀、松浦弦三郎	教員の実務経験		有	実務経験の職種		設計		
【科目の目的】									
土木・造園分野での学びの集大成として、計画・設計・施工の一連のプロセスを経験し、現実社会での応用力、協働の重要性、安全管理、責任感、そして最終的にプロジェクトを完遂することで達成感と自信を得ることを目指します。									
【科目の概要】									
2年間の集大成として構造物や庭園などの計画・設計～模型制作・施工などに取り組み、成果をまとめます。									
【到達目標】									
次の4点を到達目標とする。 ①土木・造園それぞれの学習内容を目の前の現実に応用できる。②自分と考え方も能力も違う人間とコミュニケーションをとって協働作業を成立させることができる。③安全かつ正確に作業を進めていくことの重要性を理解する。④真剣に取り組み、最後まであきらめず完成させることで、社会に出て活躍するための自信を持つことができる。									
【授業の注意点】									
建設機械類を使用する場合は、必ず教員の許可と立ち合いのもとでを使用すること。ヘルメットや手袋の着用など、教員の指示に従うこと。服装は作業に適したものであること（サンダル、短パン等は認めない）。チームでの協力が欠かせないため、勝手な行動は慎むこと。その他、これまでの実習で学んできたことを一つ一つ確実にこなすこと。授業時数の4分の3以上出席しない者は単位を認定しない。									
評価基準＝ループリック									
ループリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	学んだ知識を現実的に的確に応用でき、応用力が非常に高い。	メンバーと円滑に協力し、協働の中心的役割を果たす。	作業の安全・正確性を常に重視し、リスクを適切に管理できる。	プロジェクトに責任を持ち、真剣に取り組む姿勢が顕著である。	最終成果物の完成に強い達成感と自信を持っている。				
到達目標 B	知識を応用する力が高く、概ね現実反映できる。	他者と円滑に協力し、積極的に作業を進めることができる。	安全と正確性を意識して作業を進められる。	最後まで取り組む責任感があり、結果を残せる。	成果物の完成である程度の達成感と自信を持つ。				
到達目標 C	基本的な応用力があり、指導を受ければ現実に応用できる。	他者との協力にある程度貢献し、協働作業を進めることができる。	必要な安全対策をとれるが、一部のミスが発生することがある。	完成に向けた責任感はあるが、時に進捗に困難が生じる。	一部達成感を得るが、改善点も感じる。				
到達目標 D	知識の応用が一部に限られ、指導が必要である。	協力する姿勢はあるが、指導が必要な場面が多い。	安全に関する注意が不足し、問題が発生しやすい。	責任感に乏しく、進捗が遅れることがある。	達成感が低く、自信に欠ける面がある。				
到達目標 E	知識を現実に応用できない。	他者との協力が難しく、協働が進みにくい。	安全に対する意識が欠け、リスク管理ができない。	最後まで取り組む姿勢が欠如し、責任感が薄い。	完成が難しく、達成感や自信を感じることができない。				
【教科書】 特になし									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 制作課題の設定、取り組み、成果を総合的に評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

